

第5学年 外国語科学習指導案

い組	男子17名	女子17名	計34名
指導者	JTE	金 崎 英 俊	
指導者	ALT	Christopher Sneller	

1 単 元 When is your birthday?

2 単元について

(1) 単元の位置とねらい

この期の子どもたちは、第5学年「Hello, everyone.」の学習を通して、“What ○○ do you like?”と好きなものを尋ねる表現や、“I like ○○.” “I don't like ○○.”と自分の好きなものや好きではないものを表す表現を身に付けている。また、身に付けた英語を使って実際に友達や JTE, ALT と自己紹介をし合う活動を通して、自分のことを紹介したり、友達のことを知ったりすることのよさに気づき、「友達や JTE, ALT と英語を使って、もっとコミュニケーションを図ってみたい」と願うようになってきている。

そこで、本単元では、「交友関係を広げたり、深めたりするために、誕生日を話題として伝え合おう」という目的を設定し、話し手の発表形式での紹介の仕方や、聞き手の話の聞き方に着目して、誕生日について伝え合う内容や方法を追求する活動を通して、月や序数の語彙や“want”を用いて欲しいものを伝える表現を身に付けることをねらいとしている。また、相手意識を基に、自分の伝えたいことを強調して話したり、相手に応答しながら聞いたりする工夫を用いて伝え合おうとする態度を養うことをねらいとしている。さらに、日本と外国の祭りや行事について共通点や相違点を体験的に理解することをねらいとしている。

なお、ここでの学習は、鹿児島大学の留学生と自己紹介をしたり、お互いの国の特産品や文化について紹介したりする「Hello, world!～鹿児島の特産品を紹介しよう～」に発展するものである。

(2) 指導の基本的な立場

子どもたちにとって、誕生日は家族にお祝いをしてもらったり、両親に感謝をしたりするなど1年の中で最も特別な日の1つである。また、友達同士の日常の会話でも、お互いの誕生日を伝え合ったり、相手の欲しいものを想像しながら贈り物をしたりしている。そのため、誕生日や誕生日に欲しいものを話題にして、友達と伝え合う活動を設定することは、子どもたちにとって魅力がありコミュニケーションへの意欲を高めることに適している。また、月や序数の語彙や“want”を用いて欲しいものを伝える表現を身に付けることに適している。さらに、日本と外国の祭りや行事の共通点や相違点に気付くことができるものと考えられる。

そこで、本単元の展開にあたっては、まず、誕生日に対する互いの思いや意味合いを共有し、誕生日を話題として伝え合うことで、交友関係を広げたり深めたりするという目的を明確にもたせる必要がある。また、誕生日について「言葉の抑揚」に気をつけながら話したり、聞いたことについて「考えを伝える」など工夫しながら、よりよいコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが大切である。

具体的にはまず、誕生日に関する写真を用いた動画を提示し誕生日に対する思いを引き出したり、意味合いについて話し合ったりする活動を設定する。また、新年度開始から2ヶ月が過ぎた交友関係の現状や各学級が定めた学級目標を基に、交友関係を広げたり深めたりするという単元の目的を設定する。さらに、そのために月や序数の語彙や“want”を用いて欲しいものを伝える表現が必要であることに気付かせる。

次に、“My birthday is ～.”と自分の誕生日を伝える表現や、“When is your birthday?”や“What do you want for your birthday?”と誕生日に関して聞く表現について、リズムチャンツや様々なゲーム活動の中で、十分に聞いたり発話させることで身に付けさせる。また、自分の誕生日や誕生日に欲しいものなどについて、自分が友達に伝えたい内容を整理した上で、リーフレットにまとめる

活動を設定する。さらに、日本と外国の祭りや行事の共通点や相違点については、デジタルコンテンツを用いながら取り扱うようにする。

さらに、誕生日について話したり聞いたりする活動の中で、よりよいコミュニケーションを図るためにはどうすればいいか考える際に、グループでの学び合いを導入し、skit の比較を通して、伝えたいことを抑揚を使って話したり、自分の考えを伝えたりすることの必要性に気付くようにする。

これらの学習を通して、積極的に相手とコミュニケーションを図ろうとしたり、相手を意識しながらコミュニケーションを図るための工夫に気付くことができたりするようになる。また、コミュニケーションを図る際に、必要な工夫について相手や目的との関わりで捉えながら考えることができるようになる。このような学習を積み重ねることで、他者を尊重し、コミュニケーションを通して相手と理解し合ったり、円満な関係を築いたりすることができるようになっていく。

(3) 子どもの実態(対象者：5 年い組34名 数値は延べ人数で、結果は主なもののみ表示)

① 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度について

- 英語で会話をするのは楽しいか。
くはい(29) >
・ 仲良くできるから(20)・役に立つから(15)
くいいえ(5) >
・ むずかしいから(4)・はずかしいから(1)

② 身に付けた英語について (複数回答)

- 月に関する言葉を英語で言えるか。
January(9) February(10) March(15) April(15)
May(8) June(7) July(10) August(11)
September(9) October(8) November(7) December(7)

③ 学習・生活経験に関する内容について (複数回答)

- 相手に何か尋ねる際にどんな工夫ができるか。

言葉	態度
あいさつ(15)	相手の目を見る(19)
ほめる言葉(7)	大きな声を出す(15)
丁寧な言葉遣い(7)	笑顔(14)
その他(8)	その他(6)

本学級の多くの子どもたちが、英語を使って会話をすることに好意的である。一方、楽しむことができない子どもも約 1 割いる。英語を聞くことができるが、話すことに対して抵抗感があると考えられる、(①)

本学級の月を表す英語を身に付けている子どもは約 3 割であった。未習であると同時に、校内放送で聞く場面以外ではふれる機会が少ないからだと考えられる。(②)

本学級の多くの子どもたちが、あいさつや相手の目を見る、大きな声を出すなど基本的なコミュニケーションの工夫について気付いている。一方、相手の意見について自分の考えを伝えと挙げた子どもがいなかった。これまでの英語でのコミュニケーション場面では、相手の質問について答えることはできるが、相手の答えに対して自分の考えを整理して英語で伝える経験が少ないことが要因であると考え、(③)

(4) 指導上の留意点

ア 「誕生日の伝え方を知ろう」では、活動への興味や関心を高めるために、誕生日に関する写真を基にした動画を提示したり、JTE が誕生日や誕生日に欲しいものについて、英語や絵などを交えて作成したリーフレットを提示し、「交友関係を広げたり深めたりするために、誕生日を話題として伝え合おう」という目的や相手を捉えさせたり、昨年度の留学生との交流会の写真を提示し、本単元の学習がつながることを意識させる。さらに、必要な表現を身に付けられるようするために、初めは、Pointing Game 等の聞くゲーム活動を中心に、次に Chain Game 等の話す活動が中心となるようにゲーム活動を設定する。

イ 「誕生日の伝え方を工夫しよう」では、実際にお互いの誕生日について伝え合う活動の前に、コミュニケーションを工夫する観点を共有するために、基本表現のみを使った skit と、コミュニケーションを工夫した skit を比較させ、コミュニケーションを工夫する観点「言葉の抑揚」「考えを伝える」を見出させる。

ウ 「誕生日について伝え合おう」では、達成感を味わわせるために、学んだことを生かしながら、友達とお互いの誕生日について伝え合ったり達成度を振り返ったりする活動を設定する。また、「言葉の抑揚」「考えを伝えること」の価値を実感するために、感想を交流する場を設定する。

3 目 標

- (1) ・ 誕生日について伝え合う際に、誕生日を話すことや聞いたりすることができたり、リーフレットに活字体の大文字を書いたりすることができる。
- ・ 日本と外国の祭りや行事の共通点や相違点について理解することができる。
- (2) 相手に応じて話し方や聞き方を工夫しながら、誕生日を伝え合うことができる。
- (3) 友達と、誕生日や誕生日に欲しいものを伝え合う活動に興味をもち、自分のことを伝えたり、相手の話を理解しようとしたりする。

4 指導計画(全7時間)

過程	学習課題と主な学習活動	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	①Let's Know the Goal. 1 誕生日に関する動画を見る。 2 JTE が作成した誕生日に関するリーフレットを見て気付いたことを話し合う。 3 単元のめあてを設定する。 友達との仲を広げたり深めたりするために、誕生日について伝え合おう。	○ お互いの誕生日を紹介し合う活動に向けて見通しをもって活動に取り組ませるために、必要な表現を身に付ける時間やリーフレットを作成する時間を基に学習計画を立てる。 ○ 必要な表現を身に付けさせるために、JTE と ALT による誕生日を尋ねる表現を取り入れた skit を授業の導入に毎時間取り入れる。
つかむ	②Let's Play Games. 1 学習計画を確認する。 2 誕生日や誕生日に欲しいものを話したり聞いたりする表現をゲーム活動を通して身に付ける。 3 感想を交流する。 ③Let's make a Leaflet. 1 誕生日や誕生日に欲しいものを話したり聞いたりする表現を確認する。 2 誕生日や誕生日を紹介するリーフレットを作成する。 ④⑤Let's Learn About Cultures. 1 日本と外国の祭りや行事について共通点や相違点を話し合う。 2 日本の行事や祭りについて話し合う。	○ 意欲的に活動に取り組ませるために、同じ誕生日の有名人や、星座、誕生石など子どもたちが誕生日について友達に伝えたい内容を表すことができるリーフレットの形式を準備する。 ○ お正月やクリスマスなど、日本や外国で行われている祭りや行事の共通点や相違点に気付かせるために、デジタルコンテンツの動画を提示する。提示する際には、クリスマスのように日本と同じ行事でも実施する季節が違うものを中心に扱うようにする。
挑戦する・広げる	⑥Let's Prepare To Talk. (本時) 1 JTE と ALT による skit ①を提示する。 2 子どもが考えた skit ②と skit ①を比較して考える。 JTEとALTのSkit① ↔ 子どもが考えたSkit② コミュニケーションを工夫する観点 3 コミュニケーションを工夫する観点を生かして、誕生日を伝え合う練習をする。  誕生日について話したり聞いたりする際に工夫が必要なんだね。	○ 誕生日について伝え合う際のコミュニケーションを工夫する観点に気付かせるために、コミュニケーションが上手にできないskit①を導入で提示する。また、skit①でよりよいコミュニケーションを図ることができるかについて考えさせる発問を行い、子どもの問いから、コミュニケーションを工夫する観点について追究する学習問題を設定する。 ○ 本時の学びの有用感を味わわせるために、単元の達成度を数値を基に振り返らせる時間を設定する。また、感想を交流する時間を設定し、コミュニケーションを工夫する観点「言葉の抑揚」「考えを伝える」のよさを共有する。
振り返る・生かす	⑦Let's Introduce. 1 友達と誕生日を伝え合う。 2 感想を交流する。 誕生日や誕生日に欲しいものを伝え合うことで、友達をもっと知ることができたよ。 	

5 本 時 (6/7)

(1) 目 標

友達と誕生日を話題にして伝え合う活動に興味や関心をもち、「言葉の抑揚」「考えを伝える」を観点として、工夫して伝え合おうとする。

(2) 本時の展開に当たって

コミュニケーションを工夫する観点に気付かせるために、まず、基本の話形を使っているが、誕生日や誕生日に欲しいものが伝わらなかったり、相手が話してくれたことに何も答えずに質問だけをする skit を提示し問題意識をもたせる。また、グループ毎の学び合いを通してコミュニケーションを工夫する観点「言葉の抑揚」「考えを伝える」を見出させる。さらに、コミュニケーションを工夫する観点を共有しグループ毎の練習の中で生かせるようにする。

(3) 実 際

過程	主な学習活動	使用英語	時間	教師の具体的な働きかけ
意欲をもつ	1 Greeting 2 Watching Skit  誕生日について話し合う際に、このままの話し方や聞き方でいいのかな。 3 Meeting Today's Target 学習問題を立てる。 誕生日について伝え合うときにどんな工夫ができるだろう。	【Skit①】 J:Hello! How are you today? My name is ○○. My birthday is○○. When is your birthday? A:My birthday is○○. J:What do you want for your birthday? A:I want ○○.	8	○ 誕生日を話題としたコミュニケーションの図り方について問題意識を喚起するために、基本の話形だけを使った skit ①を提示する。また、誕生日や誕生日に欲しいものを話したり聞いたりする際に工夫が必要なことに気付かせるために、「どうして誕生日について話す人も聞く人も不満そうな顔だったのか。」と発問し、子どもの問いから学習問題を焦点化する。
	4 Practice & Rhythm Chants 誕生日や誕生日に欲しいものを話したり聞いたりする表現の確認ができたよ。 	【Skit②】 C1:Hello! How are you today? My name is ○○. My birthday is○○. When is your birthday? C2:My birthday is○○. (抑揚をつける。) C1:I like ○○. What do you want for your birthday? C2:I like ○○. I want ○○. C1:I like ○○,too. Thank you.	5	
	5 Think about How to Talk グループで考える。  日付や欲しいものを強調したり、考えを伝えたりするといいいのかもしれない。	【想定される表現】 I like ○○. I want ○○. Me,too. Really? I see.	25	
つかむ	6 Sharing コミュニケーションを工夫する観点を共有する。 導入でのSkit①  誕生日や誕生日に欲しいものについて話したり聞いたりする。 比較 代表によるSkit② Skit①に加えて日付を強調したり、考えを伝えたりする。  誕生日が分かるように話したり、自分の考えを伝えたりするといいいね。 学習のまとめ 誕生日を伝え合うときは、抑揚を用いて強調したり、考えを伝えたりするといいい。			○ コミュニケーションを工夫する観点を共有するために、中間発表の場を設定する。その際、比較して考えさせるために、再度 skit ①を提示する。さらに、代表グループの発表の後に、「どうして言葉の抑揚を使ったのかな。」「どんな表現が付け加わっていたのかな。」と発問し、意見を交流する中で、コミュニケーションを工夫する観点「言葉の抑揚」「考えを伝える」を焦点化できるようにする。 ○ コミュニケーションを工夫する観点「言葉の抑揚」「考えを伝える」を生かすことができるようにするために、子どもが本単元までに学習した表現を黒板に掲示し可視化して扱えるようにする。
挑戦する・広げる	7 Let's Talk 8 Reflection  ただ話す聞くだけでなく、工夫をすることで上手に伝え合うことができたよ。		7	
振り返る	9 Ending			

